



Mars M1

取扱説明書

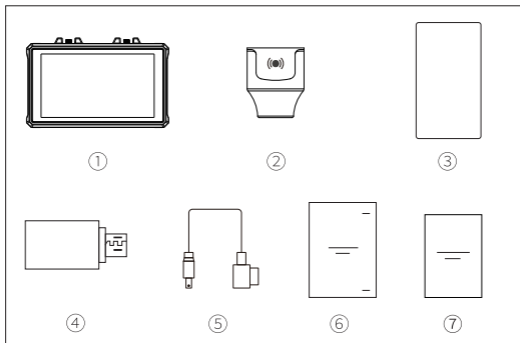
V2.0

はじめに

この度はHollyland Mars M1をご購入いただきありがとうございます。

このワイヤレス通信モニターは、最新の画像符号化・復号化技術と5G周波数帯の通信技術を採用しています。送信機としても受信機としても動作し、驚くほどのLOS範囲とワイヤレスビデオ通信のための超低遅延を実現しました。

本取扱説明書はMars M1の設置やご使用時にお役立てください。

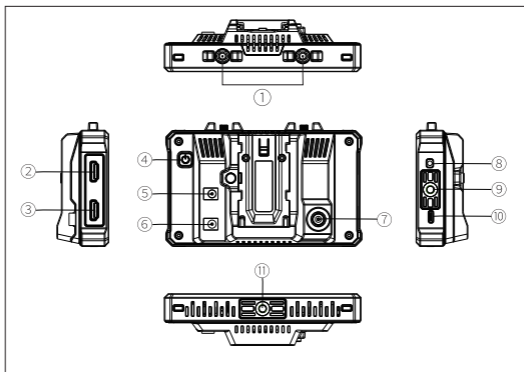


包装製品リスト

① モニター	× 1
② カプセルアンテナ	× 2
③ 強化ガラス製スクリーン保護	× 1
④ OTGアダプター	× 1
⑤ DCケーブル/D-Tap	× 1
⑥ 取扱説明書	× 1
⑦ 保証書	× 1

注意：上記のリスト数量はパッケージの種類によって異なります。

製品インターフェース



- ① RP-SMAアンテナコネクタース
- ② HDMI入力
- ③ HDMI出力/ループアウト
- ④ 電源ボタン
- ⑤ DC出力（外部機器への電力供給）
- ⑥ DC入力（モニターへの電力供給）

- ⑦ SDI入力
- ⑧ 3.5mmイヤホンジャック
- ⑨ 1/4ネジ穴
- ⑩ USB Type-Cインターフェース
- ⑪ 1/4ネジ穴

タッチスクリーン・ユーザーインターフェース



- ① デバイスモード
- ② 接続周波数
- ③ 信号強度
- ④ 動画形式
- ⑤ LUT名

- ⑥ USBメモリー
- ⑦ ヘッドフォン
- ⑧ 電源
- ⑨ モニター機能
- ⑩ 設定



波形

画像内の輝度分布のデータ点を水平に表示します。波形を押しながらドラッグすると、その位置を変更することができます。



ベクトルスコープ

画像の色の飽和度を表示します。ベクトルスコープを押しながらドラッグすると、その位置を変更することができます。



ヒストグラム

画像内の輝度分布データ点をグラフで表示します。ヒストグラムを押しながらドラッグすると、その位置を変更することができます。



ゼブラパターン

露出レベルを示す縞模様を画像に重ねる機能で、露出オーバーになりそうな部分を表示することで露出を補助する機能です。閾値の範囲は0~100で、0はIREレベルが50、100はIREレベルが100であることを示します。



フォーカスアシスト

画像のシャープな輪郭の周りに色のついた線を表示します。フォーカスポイントは、赤、黄、緑、青、白の5色です。フォーカス感度は0~100です。



クロップマーク

画像の上下左右の特定の部分を隠すことで、画像のアスペクト比を定義します。クロップの透明度は、0~100の範囲で設定できます。クロップマーク機能は、以下のアスペクト比（横対縦）で有効にすることができます。16: 9、4: 3、5: 4、1: 1.9、2.41: 1、2.39: 1、2.35: 1、1.9: 1、1.85: 1。また、必要に応じて機能を無効にすることもできます。



モノクローム表示

単色で構成する画像を表示します。グレースケール・モードでは、画像は黒、白、グレーの3色で表示されます。赤、緑、青の各モードでは、対応する色で表示されます。



フォルスカラー

画像の輝度に応じて、画像を異なる色で表示します。

説明



3D LUT

画像内の色を調整することができます。USBメモリー経由で必要なLUTをインポートすることができます。



色温度調整

異なる色温度で画像を表示することができます。5600K、6500K、7500K、9300Kの4種類のオプションがあります。



ズーム

2倍、4倍ズームに対応しています。画面を横にスワイプすることで、拡大する範囲を変更することができます。



アナモフィックデスクイーズ

1.25倍、1.33倍、1.5倍、2.0倍モードの画像を垂直方向に、2.0倍モードの画像を水平方向にデスクイーズすることができます。



フリーズ

音声は続行されるが、動画のフレームが繰り返し表示されることを示します。



ミラーリング

水平または垂直方向に動画をミラーリングすることができます。



9グリッド

動画を3行3列で表示します。

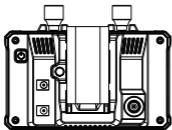


音量

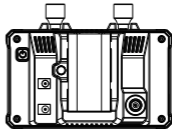
動画の音声信号強度を表示します。

クイックガイド

電源を入れる

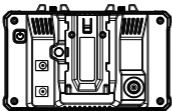


Step1: F970のバッテリーを製品に取り付ける、もしくは製品をDC電源に接続する

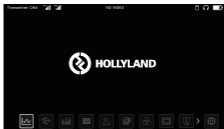


Step2:電源ボタンを3秒間長押しし、電源を入れる

送信機モニターの設定



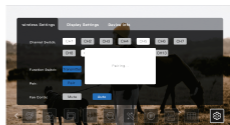
Step1: 製品をSDIもしくはHDMIでビデオソースに接続し、画面にコンテンツが正常に表示されるのを待ちます。



Step2: 画面右下のアイコンをタップすると、設定画面に入ります。



Step3: Pairをタップすると、受信機とのペアリングが開始されます。このシステムはどのHollyland Marsシリーズ送信機でも同じです。



Step4: ペアリングできると、受信機には接続成功のメッセージが表示されます。送信機にビデオソースが入力されている場合、コンテンツはMars M1モニターと受信機の両方に表示されます

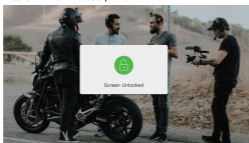
クイックガイド

受信機モニターの設定



Step1: 設定のPairをタップすると、送信機とのペアリングが開始されます。このシステムはどのHollyland Marsシリーズ通信機でも同じです。

画面のロック解除/ロック



画面のロック解除は、電源ボタンを押すとロックが解除されます。

注意: LCD画面に長時間にわたって画像や文字表示をそのままにしておくことは絶対に行わないでください。

画像や文字表示の一部が画面に焼きつき、ゴーストが残ることがあります。

設定

周波数の設定

製品の周波数リストでチャンネルを選択します。

注意: CH3-CH10の周波数下でWiFi接続に対応していない携帯もあります。他の周波数に切り替えてWiFi接続を行ってください。

Frequency Setting:



モードの切り換え

Mars M1モニターは、送信モードと受信モードを切り替えることができます。

モードを選択し、製品を再起動する必要があります。

Device Mode Switch :

Transmitter

Receiver



Step2:ペアリングができると、また受信機にビデオソースが入力されている場合、Mars M1モニターにコンテンツが表示されます。



画面のロックは、電源ボタンを押すとロックされます。

クイックガイド

ペアリング

電源を入れ、画面にチャンネルナンバーが表示されると、ペアリングの準備が完了します。

1対1のペアリングは、送信機と受信機のペアリングボタンを同時に押し、ペアリングが開始されます。1対2のペアリングは、送信機が受信機1とペアリングされた後、受信機2とペアリング操作をしてください。送信機は同時に2つの受信機とペアリングすることはできません。

注意： Mars M1はMars 300 ProおよびMars 400s Proとペアリングできます。



ファームウェアのアップグレード

- 1、ファームウェアのアップグレードファイルをUSBフラッシュドライブにコピーする。
- 2、製品の電源を入れ、USBフラッシュドライブをOTGアダプターに装着し、OTGアダプターをUSB Type-CインターフェースでMars M1モニターに接続します。
- 3、自動的にアップグレードが開始されます。
- 4、アップグレードができたなら、自動的に再起動します。

注意：アップグレード中は、電源が切れないように注意をしてください。

アプリの操作

iOSとAndroidでのアプリのインストールとモニタリング

- 1、App StoreやGoogle PlayでHollyViewアプリを検索し、アプリをダウンロードし、携帯にインストールします。
- 2、自動スキャンによるペアリングは、アプリを起動すると、Mars M1モニターとのペアリング自動スキャンを開始します。一度ペアリングされると、モニターからのコンテンツがアプリのインターフェースに表示されます。
- 3、製品IDの手動入力によるペアリングは、アプリを起動し、製品IDを手動で入力します。一度ペアリングされると、モニターからのコンテンツがアプリのインターフェースに表示されます。

LUT設定

Mars M1画面下部のメインメニューにあるLUTアイコンをタップして、LUTの設定インターフェースにアクセスし、以下の操作を行ってください。

LUTインポート

- 1、LUTファイルをFAT32でフォーマットしたUSBフラッシュドライブに保存し、USBフラッシュドライブをOTGアダプターに装着します。OTGアダプターをMars M1モニターにUSB Type-Cインターフェースで接続します。
- 2、メインメニューのLUTアイコンをタップし、表示されたダイアログボックスからLUTインポートオプションを選択します。システムがUSBフラッシュドライブからLUTファイルを取得し、インポートするのを待ちます。
注意：LUTファイル名の最後は.cubeにしてください、ファイル名は128文字を超えないようにしてください。
- 3、インポートするLUTファイルを選択し、表示されたダイアログボックスのF1、F2、F3、F4、F5ボタンからオプションをタップします。
- 4、LUTインポートをタップすると、対応するボタンオプションにLUTファイルがインポートされます。RGBとBGRのカラーチャート：システムのデフォルト・オプションが、RGBカラー・チャートです。メニューのトグルアイコンをタップして、BGRカラーチャートに切り替えることができます。

LUTの適用

- 1、メインメニューのLUTアイコンをタップします。F1ボタンにあるLUTファイルがデフォルトで適用されます。
- 2、F2、F3、F4、F5ボタンをタップすると、対応するLUTファイルを選択でき適用します。
- 3、F1、F2、F3、F4、F5ボタンを再度タップすると、対応するLUTファイルの選択が解除されます。
- 4、LUTアイコンもしくは画面上の他の場所をタップして、LUT設定インタフェースを終了します。
LUTファイル名の表示：選択したLUTファイルが適用されると、トップのinfoバーに対応するLUTファイル名が表示されます。

注意：5つのカメラLUTファイルは、デフォルトでは以下の通りです。

- F1: Canon_C-Log.cube
- F2: Canon_C-Log2.cube
- F3: Sony_S-Log.cube
- F4: Sony_S-Log2.cube
- F5: Slog3to709TypeA.cube

仕様

	送信モード	受信モード
ビデオ入力インターフェース	3G-SDI入力(BNCメス) HDMI 1.4b入力 (Type-Aメス)	
ビデオ出力インターフェース	HDMI 1.4bループアウト (Type-Aメス)	HDMI出力 (Type-Aメス)
アンテナインターフェース	RP-SMAオスインターフェイス ×2	RP-SMAオスインターフェイス×2
電源入力インターフェース	DC入力 (2.0mmコアソケット)	DC入力 (2.0mmコアソケット)
電源出力インターフェース	DC出力 (2.0mmコアソケット)	DC出力 (2.0mmコアソケット)
イヤホンジャック	3.5mmジャック	3.5mmジャック
ファームウェアアップデートインターフェース	USB Type-C	USB Type-C
画面サイズ	5.5"タッチ画面	5.5"タッチ画面
画面解像度	1920×1080 ピクセル	1920×1080 ピクセル
画素密度	403PPI	403PPI
縦横比	16:9	16:9
明度	1000nits	1000nits
コントラスト	1000:1	1000:1
電源電圧範囲	DC入力: 7~16V、公称電圧12V NP-Fバッテリー: 6.8V-8.4V	DC入力: 7~16V、公称電圧12V NP-Fバッテリー: 6.8V-8.4V
出力電圧範囲	8.4V±5%	8.4V±5%
消費電力	<14.5W(DC出力なし)	<10W(DC出力なし)
重量	380g(13.5oz) (アンテナを除く)	380g(13.5oz) (アンテナを除く)
寸法	(L*W*H):152*96*40mm (5.98"x3.78"x1.57") (アンテナを除く)	(L*W*H):152*96*40mm (5.98"x3.78"x1.57") (アンテナを除く)
動作周波数	5.1 - 5.8 GHz	5.1 - 5.8 GHz
コーデック	H.264	H.264
ビット数	12 Mbps	12 Mbps
TX電力	Max. 21 dBm	Max. 21 dBm
RX感度	/	-80 dBm

仕様

レイテンシー	0.08s	
範囲	450 ft (150m)	
帯域幅	20 MHz	
変調モード	802.11n	
音声入力形式	3G-SDIは2系統、HDMI 1.4bは8系統のオーディオチャンネルを搭載	
音声出力形式	HDMI 1.4bは8系統のオーディオチャンネルを搭載	
動作温度	-10°C~60°C	
保存温度	-40°C~60°C	
ESD保護	接触放電: ±6kV、空気中放電: ±8kV(テストデータ)	
入力形式	HDMI:	/
	720P50/59.94/60 Hz	/
	1080I50/59.94/60 Hz	/
	1080P23.98/24/25/29.97/30/50/59.94/60 Hz	/
	3840 x 2160P23.98/24/25/29.97/30 Hz	/
	4096 x 2160P23.98/24/25/29.97/30 Hz	
	SDI:	
	720P50/59.94/60 Hz	/
	1080I50/59.94/60 Hz	/
	1080P23.98/24/25/29.97/30/50/59.94/60 Hz	/
出力形式	HDMI入力&HDMIループアウト:	HDMI出力:
	720P50/59.94/60 Hz	720P50/59.94/60 Hz
	1080I50/59.94/60 Hz	1080I50/59.94/60 Hz
	1080P23.98/24/25/29.97/30/50/59.94/60 Hz	1080P23.98/24/25/29.97/30/50/59.94/60 Hz
	3840x2160P23.98/24/25/29.97/30 Hz	1080P50/59.94/60
	4096x2160P23.98/24/25/29.97/30 Hz	1080P50/59.94/60
	SDI入力&HDMIループアウト:	
	720P50/59.94/60 Hz	720P50/59.94/60 Hz
	1080I50/59.94/60 Hz	1080I50/59.94/60 Hz
	1080P23.98/24/25/29.97/30/50/59.94/60 Hz	1080P23.98/24/25/29.97/30/50/59.94/60 Hz

注意: 国や地域によって周波数や送信電力は異なります。

安全上の注意

バッテリーのオーバーヒートや爆発を防ぐために、製品を熱いものの近くや上に置かないようにしてください。（電子レンジ、IH調理機器、電気オープン、電気ヒーター、圧力鍋、給湯器、ガスコンロなど、ただしこれ以外にも注意をしてください。）

サポート

製品ご使用中のトラブルやサポートは、以下よりサポート内容をご確認ください。

 Hollyland Product User Group

 HollylandTech

 HollylandTech

 Support@hollyland-tech.com

 www.hollyland-tech.com

Mars M1のユーザーガイドをダウンロードすることもできます。
当社の公式ウェブサイト<https://www.hollyland-tech.com/>でサポート > アフターセールサービス > ダウンロード > Mars M1 > 「ユーザーガイド」を選択してください。

ステートメント

すべての著作権はShenzhen Hollyland Technology Co., Ltd.に属します。Shenzhen Hollyland Technology Co., Ltd.の書面による承認がない限り、いかなる組織または個人も、本文の内容の一部または全部をコピーしたり、複製したり、いかなる形式でも散布するようなことはできません。

商標ステートメント

すべての商標は、Shenzhen Hollyland Technology Co., Ltd.が所有しています。

注意；本取扱説明書は、製品のバージョンアップやその他の理由により、適宜更新される予定です。本説明書は、特段の合意がない限り、使用ガイドとして提供されるものです。本説明書に記載されたすべての表現、情報、および推奨事項は、明示されたもしくは読み取れる内容にかかわらず、いかなる保証をするものではありません。

FCC要求

製造元の明示的な許可なく、製品の変更や改造が行われた場合は、使用者が本機器を操作する権利が無効になる可能性があります。

本製品はFCC規則パート15に準拠しています。操作は次の2つの条件に規制されます。

- (1) 電波障害を起こさないこと。
- (2) 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

FCC 放射線の被曝ステートメント:

この製品はテストされ、FCC SAR制限に適合しています。

注意:

本製品は、FCC規則パート15に準ずるClassBのデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。この制限事項は、住宅地域で使用した場合に生じる可能性のある電波障害を規制するために制定されたものです。本製品は無線周波エネルギーを生成し使用しています。また、それを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。しかしながら、特定の設置状況において電波障害を起こさないという保証はありません。もし本製品がラジオやテレビの受信に障害を与えているような場合には、電源をオンやオフにし判断してください。受信障害が発生している場合には、以下の1つもしくはいくつかの方法で受信障害の改善をすることをお勧めします。

- 受信アンテナの方向または設置位置を変える。
- 本製品の受信機の距離を離す。
- 本製品と受信機の電源系列を別の回路にする。
- 販売店やラジオ/ビデオの専門術者に問い合わせる。

本機器は、制御されていない環境に対して規定されたFCC放射線暴露制限に適合しています。本機器は、ラジエーターと身体との間に20cm以上の距離をおいて設置・操作してください。本送信機は、他のアンテナまたは送信機と共存させたり、一緒に操作したりしてはなりません。